

バイタルロボで 24時間見守り 職員による虐待も検知

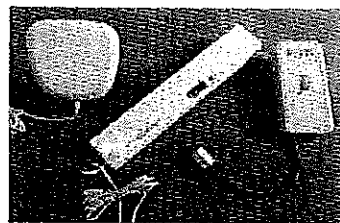
・笑顔(大阪市)は、昨年より一般家庭を対象に、バイタルロボットを用いた高齢者見守りシステムの販売を行っている。今年5月からは高齢者住宅への提案も開始した。



24時間見守り・職員による虐待も検知システムを開発した笑顔(大阪市)の代表者。

このシステムは、高齢者の呼吸・脈拍・体動を24時間リアルタイムで測定するもの。センサーによる非接触式なので、高齢者は何かを身に付けたり、持ち

歩いたりする必要が
無い。またボタンや
スイッチを押す必要
もない。インターネ
ット環境が整ってい



バイタルロボットの外観

れば設置可能。

近藤芳樹理事長は「私は元々介護事業所で勤務していたが、より高齢者・スタッフ双方に負担の少ない見守り方法が無いかと考え

「バイタルデータはリアルタイムでスタッフのパソコンや携帯端末に送られるので、異変があればすぐに察知できる。そのため、スタッフの定期的な巡回回数を減らすことができ」

また、バイタルデータは1年間分蓄積されるため、スタッフによる入居者虐待の把握にも繋がるという。

た日時と、特定のスタッフが巡回していた日時が一致することが何回か重なれば、そのスタッフによる虐待の可能性が考えられる」

費用は、50室の建物の各居室にセンサーを付けた場合で1室あたり月48000円(税別)。ただし、建物の形状や電波環境によっては中継器などが必要になるケースもある。

第60回 介護が軽んじられる風潮

上海における高齢化は中国で最も早く、1979年より始まり、2015年末時点で60歳以上人口の数は、435万9500人、上海戸籍人口の0.0人、上海戸籍人口の30.2%に相当。高齢者数は2893万3800人、高齢化率は19.6%を超え、中国全土で最も

「三低二高」

を指し、この現状を周囲に聞いてみると、「介護は家政婦の延長線上で他人の下世話をする覚悟さえあれば良い」、「特別な専門知識はいらない」など、誰でもできる

を指し、この現状を周囲に聞いてみると、「介護は家政婦の延長線上で他人の下世話をする覚悟さえあれば良い」

ゲストハウス総経理 稲田義人



中国の 高齢者 マーケット

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール
ゲストハウス総経理、中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本語介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。

経済産業省が提案する生涯現役社会の構築に向けてPTT、OTT、STの役割を話し合う「次世代リハサミット2016」が9月24日、都内で開催される。実行委員長はNPO法人Lai, aの大郷和成副理事長。

リハサミット
保険外を討論
9月24日 東京

国人介護人材採用セミナー

主催：IMAI株式会社 後援：高齢者住宅新聞社

今秋 大阪開催

19 13:30~16:00 グランフロント大阪 タワーC カンファレンスルームC06
日(水) (受付開始 13:00~) 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーC

定員30人 申し込み先は IMAI(株)
FAX: 03-3366-0619 1社15,000円 2名まで参加可能

このついて
受け入れの際には遵守しな
技能実習制度の仕組み、
では核となる協同組合の



自由生産消費協同組合 事務局長 富安一朗

度受け入れ概念図
導入の実際

医療・介護事業者向けセミナー 申込書

貴社名	
参加人数	名
ご参加者名①	部署名 [] 役職 []